



アフラリア=ガナテール

中級マーゴが上級マーゴになる際に
稀にその能力を発現する

「生産者」

と呼ばれるマーゴを生み出す能力を持ったマーゴ、
中級の頃は武闘派のマーゴだったが、生産者になった事で
能力の殆どを子供達の為に使う事に特化させたため、戦闘力の殆どを失っている。

生産者になったマーゴは
王を除く全てのマーゴ達から下重に扱われる、
アフラリアは育てたマーゴの数の多さから
”母”と慕われている。性別は♂

最大の能力は、小虫を操り捕らえる獲物のエネルギーを回収し、
頭のように見える箇所
それを元に獲物に最も相性の良い強力な効果を持つガス生産する事である。

ガス自体は常に1種類しか生成できず効果は20時間程度、
24時間で完全な期限切れになりその際はガスのレシピ自体も消滅してしまう。
だがその効果は絶大で、少量でも吸い込めば獲物の身体を自由を奪い、
吸うほどに意識以外の感覚を殆ど支配してしまう。
また獲物のエネルギーを元に作られたガスの為か、
マーゴハンター相手では解毒能力も一切機能しない。

子供達はマントの内部に収め、常に一緒に行動している、
半透明の影のような手を無数に出せるが戦闘に使える程の力はない、
手は子供を傷つけずに取り扱えるように特化した
母の愛から生まれた能力である。

得られるエネルギーの質と量から
単体行動が多いクラスの高いマーゴハンターを狙う事が多いのだが、
子供の安全を何よりも重んじる為、その狩りは
相当慎重に、かつ用意周到に行う。



ほらほら坊や達、

そんなに
がつつかなくても大丈夫よ？

もうこの娘は
逃げられないんだからあ。

さあ、
ゆっくりと、

もっと深く吸いなさい？

そう、いい感じよ。

このガスはこの世にただ一つ、
貴方の為だけに作り出した特別なもの。

心地よさは折り紙つきよ。

さあ、もっと足を広げてごらんなさい……。

「そうよ、もっと足を広げて…、
貴方が気持ちいいと思う所をもっと晒して…。」



「う…すーはー♡♡♡、すーはー…。」

「うふふ、沢山吸ってガスの効果もしっかり出てきたわね、どう？まだ抵抗する？」

「…はー、あ♡…あうがっ…ぎゅ。」

「いいわよ貴方、それじゃあ一回…」



「いきなさい。」

「……ひっ♡ はぁ♡♡ あ♡ はへ…♡♡♡」

「このガスはね、
あなたの体の自由を奪っていくだけじゃないの。
吸えば吸う程に感覚も貴方のものじゃなくなっていくの。」

「あたくしが
いきなさい と命じるだけで…」





「んふふ……!!♡……♡♡♡……!!♡♡♡」

「んふふ、この通りよう？
どうかしら？とても気持ちいいでしょ。」

「でも貴方の意識まで奪ったりしないから
たっぷり楽しんで頂戴、
そういう快感がこの子達も大好きだから。」



「うが、あぎっ！……ぐ……ぎざ……まっ……」

「あらあらお口が悪いわよう？
あたくし子供達には悪い言葉より喘ぎ声を聞かせたいの、
教育に悪いから甘い喘ぎ以外の声は出さないでくれる？」



777!

• ୧୩୩ •

[illegible]

「そうそう、女の子は悪態よりも喘いでいた方が可愛いわよ、」

まあその反抗的な所はいいわよね、
精神力が強いマーズは、
上質なエネルギーを持っていて、
相場が決まっているもの。『レグナ』

「あへ…あ、♡♡♡ はあ…あんっ♡♡♡ あ、♡♡♡ あ…♡♡♡」

「もうエネルギーを留めておく事も出来ないでしょう？
子供達もとて喜んでるわ。」



